

製品名: Crk-L ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09405**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	39kDa

抗原情報

遺伝子名	CRKL
別名	CRKL; Crk-like protein
遺伝子 ID	1399.0
SwissProt ID	P46109
免疫原	抗血清はヒト CrkL 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 173-222

背景

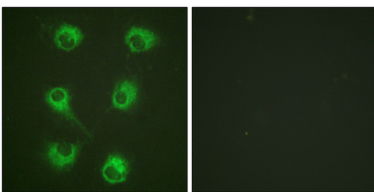
この遺伝子は、SH2 および SH3 (src 相同性) ドメインを含むタンパク質キナーゼをコードしており、RAS および JUN キナーゼシグナル伝達経路を活性化し、RAS 依存的に線維芽細胞を形質転換することが示されている。BCR-ABL チロシンキナーゼの基質である。

り、BCR-ABLによる線維芽細胞の形質転換に関与し、発癌性を有する可能性がある。[RefSeq提供、2009年1月],機能:細胞内シグナル伝達を媒介する可能性がある。、類似性:1つのSH2ドメインを含む。、類似性:2つのSH3ドメインを含む。、サブユニット:INPP5D/SHIP1と相互作用する。DOCK2およびEPORと相互作用する。リン酸化CBLBおよびIRS4と相互作用する。、

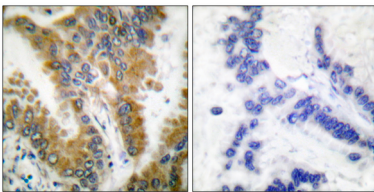
研究分野

MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein;ErbB_HER;ケモカイン;焦点接着;FcγRを介した貪食;神経栄養因子;アクチンと細胞骨格の調節;インスリン受容体;癌における経路;腎細胞癌;慢性骨髄性白血病;

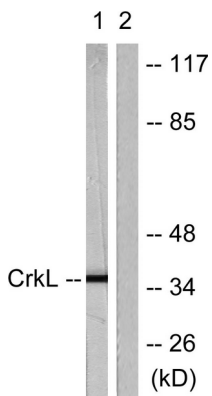
画像データ



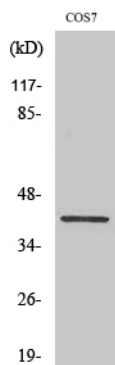
CrkL抗体を用いたHUVEC細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CrkL抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CrkL抗体を用いた293細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Crk-Lポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析